

戦評用紙

平成26年度関東高等学校バスケットボール大会

埼玉県予選会

平成26年5月16日

会場 越谷市総合体育館

Fコート第1試合

対戦	児玉	高校	19	—	12	市立川越	高校
			27	—	14		
			23	—	13		
			19	—	26		

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンで試合が始まる。児玉#4のシュートで得点、ゲームが動き出す。一方の市立川越も#12のシュートで応戦。児玉は#6や#11のシュートで得点を重ねていく。市立川越も#6や#8のシュートで得点を重ね、一進一退のゲーム展開となる。19対12児玉が若干のリードでこのピリオドを終える。

第2P、児玉はディフェンスを1-1-3ゾーンに変える。そのゾーンを攻め倦む市立川越に対し児玉は#4や#16などで得点を重ね、ここで市立川越はタイムアウト。市立川越は#8がファールを誘いながら得点するなど流れを掴もうとするが、児玉は#4や#6、#10のシュートなどで着実に得点を重ね再び市立川越はタイムアウト。このピリオド、終始リズムを掴んだ児玉が46対26とリードを広げて前半終了。

第3P、このピリオドも#5や#8のシュートで得点した児玉が先にリズムを掴む。市立川越も#6や#12のシュートで応戦するが、点差はなかなか縮まらない。ディフェンスをオールコートに変え流れを呼び戻したい市立川越だが、児玉は攻撃の手を緩めず着実に得点を重ねていく。結局このピリオドも児玉のリードは変わらず69対39で終了。

第4P、児玉は攻撃の手を緩めず得点を重ね、ベンチメンバーにシフト。市立川越も#12や#6のシュートなどで得点し、ディフェンスもオールコートからダブルチームと積極的に仕掛け意地を見せる。しかし児玉の優位は変わらず、88対65で児玉が関東大会への切符を手にした。

(記録者：八潮高校 高校 荒井 浩)